

中学校数学科における基礎・基本の定着を目指した指導の工夫 —導入・展開の各場面に応じたICT活用を取り入れて—

算数・数学班 佐俣 浩司（中学校教諭）

～生徒の様子～

基本の定着が不十分
学習への取り組みが消極的
説明・発表・質問が苦手
文章問題はあきらめがち

解決するための手立て 学習過程に応じた ICT活用

～教師の願い～

基本を身に付けさせたい
学ぶ意欲をもたせたい
活発に意見交換をさせたい
楽しく学ばせたい

手立て1：既習事項の確認と課題把握の場面

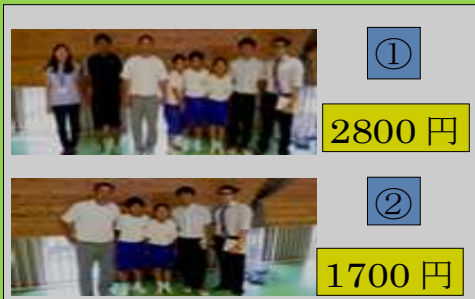
①前時に使った図等で振り返ると、想起しやすい（プロジェクタ）



②文章題の課題把握の際は・・・
・教科書教材を大きく見せてみんなで確認（電子黒板・デジタル教科書）

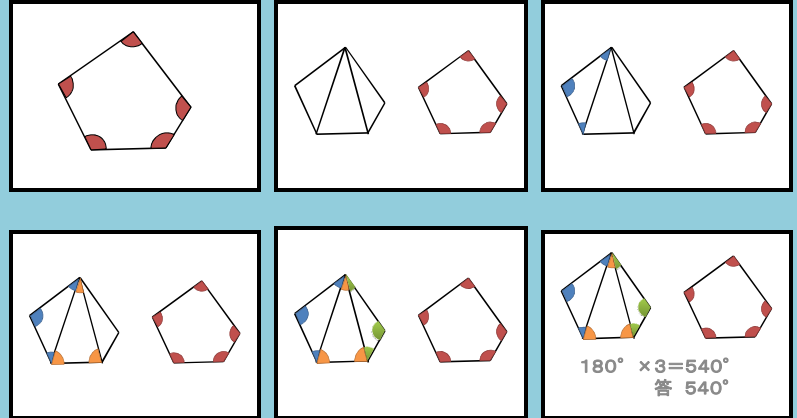


・自作の写真教材でイメージづくり

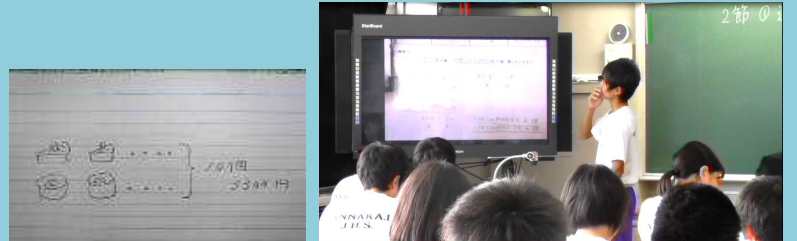


手立て2：課題を考察し広げ解決する場面

①考察に役立つ自作教材を繰り返し活用（プロジェクタ）



②生徒が、自分の書いた図や解答を実物投影機で大きく見せながら説明し、全体で検討したり確認したりする



③ノートの取り方の指導やワークシートの作成方法の指導には実物投影機が役立つ（実物投影機・プロジェクタ）



<成果>

○ICT教材の多くは視覚的効果がある。「色付け」、「繰り返し」、「書き込み」、「イメージ化」など、工夫して使うことによって生徒たちの学習理解に大きく役立った。授業後に、質問をしにきたり授業で発見したことを言いにきたりする生徒が増えた。
○ICT教材をワークシートとセットで活用することによって、生徒は学習内容をつかみやすくなった。また、ノートやワークシートの作成がどの生徒にも容易になった。
○自分の書いた図や式を大きく映して説明することによって、生徒は発表しやすくなり、生徒同士の考えの交流に大きく役立った。

<提言>

○教材を残すために、模造紙や画用紙パネルを使っての壁面掲示を併用するようにしたい。
○理解を定着させるために、教材とワークシートだけでなく、授業内容と関連付けた自習プリントや補習プリントを作成し、活用していくと良い。